



2024
1

広報おおい

vol.

700

— TOPICS —

町長・議長新年のあいさつ / 広報おおいが700号を迎えました！

わが町の底力を



新

年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、晴れやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政の運営につきまして温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨今の世界状況を顧みれば、日本、そして世界は激動の時代を迎えていると思えます。私たちは今、歴史の転換点にいないでしょうか。新型コロナウイルス感染症による危機、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナの武力衝突、さらには自国主義から引き起こされる内戦・紛争、難民・漂流など、世界の様相は一変し、対立による分断で人道主義の理念さえ岐路に立たされているかのような混乱の時代になっています。

そして、情報・物流・金融・経済などのグローバル化・多様化が、日本に山積している課題解決をより複雑にしています。

軍事力を背景とした大国の脅威に国際社会の分断が深まる中、何をどう選択し対処していくべきでしょうか。少子高齢社会も加速しつつあり、次世代を担う子どもたちに何をどう継承していくべきでしょうか。

そのような中、これからの時代は、これまでの成長戦略から生存戦略にシフトすべきとの声も聞こえています。「住んで良かった」と思える町にするために、町民や企業と情報や課題の共有化を図り、参加と協働によるまちづくりに関わりやすい状況を作る、つまり誰もが「自分ごと」として考え、「みんなは一人のため、一人はみんなのため」そして、「私たちのまちは私たちが創る」という意識のもと、多様な主体がまちづくりに参画し、まちづくりを「身近なもの」として捉える機会と場を創り出していくことが求められているのではないかと感じています。価値観の多様化やプライバシーの保護が叫ばれる時代だからこそ、人と人とのゆ

るやかなつながりを通して共に生きる喜びを享受するために、町民同士が絆を深め、融和の輪を広げ、夢おおい未来を創造するさらなる地域社会の底力に期待申し上げます。

結びに、皆様には町政に対する変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、明るい未来へ向けてご健勝ご活躍されんことを衷心より祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

大井町長

小田 眞一

Oda Shinichi



新

年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より議会運営に対しまして、深いご理解と格別なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、昨年5月から感染法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、新型コロナウイルスと共存する新しい日常が始まりました。以来、4年ぶりに夏の開催となった「大井よさこいひょうたん祭」をはじめ、笑顔あふれる出会いと活気が戻りつつあります。しかしながら、未だその爪痕は残り、ますます混沌とする国際情勢や円安基調と相まって、私たちの日常生活や地域経済に影響を与えています。このような中であっても、希望を持って前に進んでいかなければなりません。

議会にとって、コロナ禍はこれまでの活動を見直す良い機会でした。昨年は、議会活動の状況報告と町民の関心や意見を聞く機会として開催してきた議会報告会を「ざかいCafe」とし、自由に話し合いを発展させていくワールドカフェ形式としました。また、議会を身近に感じてもらう機会として「議場体験ツアー」を開催し、今後より多くの方々が参加できるものとなりました。さらには、政治に対する信頼の確保を目的として、町議会独自の倫理規範である「大井町議会議員政治倫理規程」を制定するなど、議会機能の強靱化と開かれた議会の実現に取り組みました。

今年の9月には、町議会議員選挙が予定されており、議会では、昨年9月に開催した第3回定例会において、議員定数を1名削減し、14人から13人とした。適用されるのは、この選挙からとなります。議員一人一人が改めてその責任の重さを痛感するところであり、一丸

となって、より一層「議会力」の向上に努めていく必要を感じております。

町では、「大井町第6次総合計画」つなごう！大井未来計画」に基づき取り組みを進めています。議会といたしましても、皆様と共に歩みを進め、「住んで良かった」と思える大井町を目指して邁進する覚悟でありますので、今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

新春の門出にあたり、町民の皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。

みんなの力で

笑顔と活気を取り戻そう



大井町議会議長

田村 俊二

Tamura Toshitsugu



町民の皆さんのおかげで 広報おおいが 700号 を迎えました！

協働推進課 ☎ 0465-85-5004

「広報おおい」は、1957（昭和32）年2月1日に「大井町だよりおおい」として創刊号が発行されました。これは町が誕生してから11カ月後のこと。そして月日は流れ、66年11カ月後…。2024年1月1日発行広報おおい1月号で、700号を迎えることができました。

こんなにも長い期間発行し続けられましたのも、町民の皆さんのお力添えがあってこそです。さて今回は、創刊号から600号までの100号ずつの節目号の紹介と当時の時代背景、さらに601号から現在までの主な町の出来事を振り返っていきます。

創刊号 1957年 2月1日 1950年代の日本は、戦後ようやく立ち直りはじめ、さまざまなものが始まりました。テレビの民放放送が開始されたり、現在でも人気な特撮怪獣映画「ゴジラ」の最初の映画が公開されたり、今もなお日本のシンボルの一つである東京タワーが完成したのもこの頃です。そのような中、国の動きに合わせるかのように金田村、相和村、曾我村の^{かねた}上大井と西大井が合併し、1956年4月1日に「大井町」が誕生しました。当時の人口は、6,652人ほど。旧庁舎が落成したり、JR御殿場線相模金子駅ができたり、着々と町づくりが進められ、1957年2月1日、現在の広報おおいの前身である「大井町だより おおい」の発行が開始されました。記念すべき創刊号は、B5版4ページでザラ紙に謄写版印刷されたものでした。当時は、記事が集まれば発行するという状況で年2、3回程度発行をしていたようです。



「大井町だより おおい」創刊号

0号
00年
1日

200号
1982年
3月1日

100号
1973年
12月1日

創刊号
1957年
2月1日

200号 1982年 3月1日 1980年代の日本は、俗にいう「バブル景気」真っ只中。この時代のOLファッションはワンレン・ボディコン・肩パッド！当時の町職員は濃い青色のジャケットの事務服を着用していました。また、社会現象になるほどのアイドルブームが起きました。新しい音楽に華やかなファッションといった、時代の変り目となった年代でした。その頃の町は、1981年に町制施行25周年を迎えました。同年8月、大井よさこいひょうたん祭の前身である「ひょうたんまつり」が行われ、1982年3月に広報おおい200号が発行、1983年には、現在の庁舎が完成しました。200号は、B5版の16ページで作成され、200号の特集記事から始まりました。「大井町昔ばなし」という連載記事も掲載されており、今とはまた違った形で町を紹介していました。



「広報おおい」200号

100号 1973年 12月1日 1970年代の日本は、高度経済成長期を迎え、家電製品などの開発が盛んでした。特に「カラーテレビ・クーラー・カー（自動車）」の頭文字を取って「3C」と呼ばれたこの3つは、人々の憧れでした。また、第2次ベビーブームを経て日本の総人口が1億1000万人を突破。この世代は「団塊ジュニア」と呼ばれました。2025年に再び開催される大阪万博も1970年に初めて行われました。そして町では、現在も続いている大井町総合文化祭の第1回が1972年に行われ、1973年には人口が1万人を突破。同年12月に広報おおい100号が発行され、1976年には町制施行20周年を迎えました。100号は、B5版の12ページで、現在と同じ「広報おおい」という名称で発行されていました。紙面では100号特集が生まれ、表紙は塗り絵になっていました。



「広報おおい」100号

400号
1999年
1月1日

1990年代後半の日本では、1995年に阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件が発生。同年に始まった「今年の漢字」では「震」が選ばれましたが、Windows95が発売されたり、インターネットが普及し始めたり、現在のようなIT社会にぐっと近づいた年でもありました。また、ポケベルが主流だった連絡ツールも一気に携帯電話に移っていきました。その頃の町は、1996年2月にけやき通り（町道101号線）が開通し、同年4月に、町制施行40周年を迎えました。1998年には第53回国民体育大会・秋季大会が神奈川県で行われ（「かながわ・ゆめ国体～おお汗 こ汗～」）、町では少年少女バスケットボール大会が行われました。そして広報おおい400号が発行されたのは、1999年1月。現在と同じA4版のカラー印刷で、ページ数は14ページでした。



「広報 おおい」400号

300号
1990年
8月1日

1990年代前半の日本は、好景気だった社会から一変。地価や株価が暴落し、バブル経済が崩壊、「失われた10年」が始まりました。また、短く折ったスカートにルーズソックス、髪を茶色く染めた女子高生たち「コギャル」が流行語となったりしました。その頃の町は、1990年8月に広報おおい300号が発行され、1991年に足柄上郡内で初めて人口が1万5000人を超えました。1993年には、総合体育館が完成。盛大な落成式も行われました。1994年には現在の「シルバー人材センター」の前身である「生きがい事業団」が発足しました。300号も大きさはB5版で、ページ数は14ページで作成されていました。1989年4月号から創刊された「公民館だより」が一緒にとじこまれ、文化の発信も積極的に行われていました。



「広報 おおい」300号

600号
2015年
9月1日

2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。2010年代の日本は、この未曾有の大震災の話題につきます。津波や原子力発電所の事故など、被害は相当なものでした。しかし、改めて実感した人と人との絆、なでしこジャパンのワールドカップでの優勝、京都大学iPS細胞研究所所長の山中伸弥さんが日本人として25年ぶり史上2人目となるノーベル生理学・医学賞を受賞など、暗い話題だけではありませんでした。さてその頃の町は、農業やものづくりを体験する拠点施設である農業体験施設「四季の里」を2012年にオープン。2014年には県西地域初のメガソーラー「きらめきの丘 おおい」が誕生しました。そして2015年9月に600号が発行されました。A4版24ページで、第29回ひょうたん祭と600号記念の特集が組まれていました。



「広報 おおい」600号

500号
2007年
5月1日

20世紀から21世紀となった2000年代。「IT革命」が加速し、社会や経済に大きな影響を与えました。また、中央省庁が再編され、1府12省庁制となったり、小泉純一郎内閣が発足し「小泉ブーム」が巻き起こったりしました。そして、韓国ドラマ「冬のソナタ」が大流行し、第1次韓流ブームとなりました。そのような中、町もIT革命の波に乗り、町公式ホームページが開設され、戸籍事務のデジタル化がスタートしました。2006年4月に町は町制施行50周年を迎え、1年間を通して記念事業が行われました。今でも町民から愛されるすいっぴーは、この事業から生まれました！そして2007年5月に500号が発行されました。A4版24ページで、500号記念の記事と、町制50周年記念事業のエンディングセレモニーの様子が紹介されていました。



「広報 おおい」500号

400号
1999年
1月1日

300号
1990年
8月1日

640号
2019年
1月1日

2018年12月22日、20年間大井町長を務められた間宮恒行前町長から、現在の小田眞一町長へと変わり、新たな町政が始まりました。2019年1月号の表紙は当選証書を受け取る小田町長でした。気持ち新たに、新しい時代へと進み始めました。



607号
2016年
4月1日

2016年4月1日、町は町制施行60周年を迎えました。「いま、新たなステージへ001」をキャッチコピーに、1年間を通して60周年記念事業が実施されました。これに伴い、広報おおい4月号～12月号の裏面にも60周年記念事業にまつわる記事が連載されていました。



645号
2019年
6月1日

みかんの総もぎ、そば打ち、ピザ作りなど、相和地域の魅力を生かした「体験」を商品として、町のPRをしている「(一社)神奈川大井の里体験観光協会」は、2019年3月に発足。同年6月号では特集が組まれました。



628号
2018年
1月1日

2018年1月、町公式ホームページを現在のデザインへと変更しました。パソコン対応だったページをスマートフォン対応に変更したり、トップページに検索窓を設置したりと、大幅に変更！今後も最新情報をご覧になりたいときは、町公式ホームページをご確認ください。



「体験」したい方は、こちらから



町公式
ホームページは
こちらから



682号
2022年
7月1日

2022年5月28日(土)におおい中央公園がランドオープン！当日は、オープニングイベントを実施し、約4,000人の方にお越しいただきました。オープンから約一年半が経ちましたが、連日多くの方で賑わっています。これからもたくさん遊びに来てくださいね。



664号
2021年
1月1日

2021年1月に、町公式LINEアカウントを開設しました。町政情報や町のイベント、広報おおいのまちがいさがしの答えなど、町に関する情報を幅広く配信しています。まだお友達登録していない方は、右の二次元コードから登録をお願いします！



700号
2024年
1月1日

2024年1月1日発行、「広報おおい1月号」で700号を迎えました！町の変化に合わせて、広報おおいもたくさんの変化をしてみました。これからも皆さんに愛してもらえる広報紙となるよう努めてまいります。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。



669号
2021年
6月1日

2021年7月に町では、パートナーシップ宣誓制度を創設。併せて、同日に制度を開始した南足柄市と相互利用協定も締結しました。現在では、足柄上地区1市5町で相互利用協定を締結し、誰もがその人らしく暮らせる社会の実現に向け、引き続き邁進していきます。



広報紙はこう作られている！

広報おおいは、基本的に職員が紙面を構成・作成し、印刷を業者に委託しています。表紙の写真や特集記事、レイアウトなども職員が自ら考えます。

難しい行政文書は、できる限り分かりやすい文章になるように心がけ、イベントへは、実際に足を運んで記事を書きます。自ら体験したことが最大限に伝わるよう、写真や言葉選びには全力です。

また、取材をしていく中で、本当にたくさんの方と出会い、さまざまな経験をさせていただきます。広報担当を離れても街中で声をかけていただくなど、人とのつながりをととても感じた！という歴代広報担当職員の声もありました。

神奈川県 広報コンクール入賞経験も！

広報コンクールとは、地方自治体などの広報活動の向上を目的に開催される広報紙のコンクール。広報紙・ウェブサイト・広報写真（一枚写真・組み写真）・映像・広報企画の5部門があります。残念ながら最近の入賞はありませんが、過去には広報紙 町村の部で最優秀賞や広報写真 町村の部で優秀賞を受賞するなど、数多く入賞していました。

2012年12月号では、町営水道の仕組みや歴史、整備されていった当時の様子を知る町民へのインタビューなど、6ページにわたる特集を組み、見事最優秀賞を受賞！



歴代広報担当に聞きました！

広報 **oi** おおいの **コレ**☆

約67年の歴史を持つ「広報おおい」。その長い歴史の中で、たくさんの職員が作成に携わりました。そこで、歴代の広報担当職員から当時のお話を伺いました！今はないコーナーのお話し、広報コンクールのことなど、さまざまなお話を聞くことができました。

広報おおいの 一風変わったコーナー！

★まちがいさがしに挑戦！

広報紙の最後のページに載っている「まちがいさがし」は、2005年5月号から始まり、町の行事や風景の写真を使って職員が作成しています。それ以前にはクロスワードパズルなどがありました。今月号も掲載していますので、ぜひ挑戦してみてください！

★星占い

広報紙としては珍しく、2011年12月号まで「星占い」が掲載されていました。パソコンを使った占いをページの下部に掲載していました。

お気に入りの表紙はコレ！

広報の顔となる表紙。毎回選ぶのにとっても悩みます。どうしたら手に取ってもらえるのか、中を見ようと思ってもらえるのか、皆さんの広報紙のイメージを形成するととても大切な部分です。そんな選び抜かれた表紙の中で、さらにお気に入りの表紙を選んでみました。

—2006年8月号—



写真の色合いと子どもたちの表情が良く、お気に入りです。ちなみにこの頃「ド根性〇〇」が流行っていました。

—2012年11月号—



お気に入りです。また、横写真を使用した珍しい表紙でもあります。

子どもの笑顔と、臨場感がよくわかり、

—2015年8月号—



大井保育園の夏祭りの写真です。笑顔を超えた、動きのある笑顔が撮れました！とっても楽しそうですね。

—2016年12月号—



町の地酒についての特集を組んだ時の表紙です。「酒」だけに焦点を当てて、インパクトを出しました。

—2023年6月号—



新採用職員募集のポスターを表紙にしました。今までにない、カラフルで印象に残る表紙になりました！

表紙にも作成者の色がでていておもしろいね！



令和6年消防出初式を開催します

防災安全課 ☎0465-85-5002

新春の風物詩となつています消防出初式を、今年は1月8日(月・祝)に開催します。当日は大井町消防団7個分団、さらに小田原市消防本部が集合して、分列行進・車両行進などを行います。また、この日のために日夜練習を重ねてきた第5分団が消防操法を披露します。式の最後には7個分団が一斉に空へ向かつての放水を行います。みなさんもぜひ町の安全・安心を守る消防団の勇姿を見に来てください!

出初式開催概要

【日時】

1月8日(月・祝) 10:00 ~ 12:00

【場所】

総合体育館駐車場 生涯学習センターホール

【タイムスケジュール】

10:10 分列行進

10:30 操法披露

11:00 表彰式

12:00 放水試験

※天候などにより、前後することがあります。



▲毎年圧巻の一斉放水▲

消防団員募集!

～地域で活躍しませんか～

町内在住・在勤で18歳以上50歳以下の健康な方、あなたの力が必要です!

詳細は防災安全課にお問い合わせください。

防災安全課 電話 0465-85-5002

メール bousai@town.oi.kanagawa.jp

確定申告でお使いください

「令和5年中の納付済額のお知らせ」

を送付します

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料および介護保険料は、確定申告や町県民税申告の社会保険料控除の対象となるため、2023(令和5)年1月1日から12月31日までに保険税(料)を納付された方へ各保険税(料)とも1月下旬に「納付済額のお知らせ」を送付します。

※電話やメールでのお問い合わせには、個人情報保護の観点から納付済額はお答えできません。

【問い合わせ先】

- ▼国民健康保険税・後期高齢者医療保険料について
町民課 ☎0465-85-5007
- ▼介護保険料について
福祉課 ☎0465-83-8024
- ▼確定申告・町県民税申告について
税務課 ☎0465-85-5008



▲はがきを送付します。届いたら、内容をご確認ください。

○国民健康保険税は、納税義務者である世帯主に通知します。世帯内で複数の方が申告する場合は、納付された方で納付済額を分割してください。

○後期高齢者医療保険料、介護保険料は、被保険者ごとに通知します。

○早めに納付済額を確認したい場合は、担当課窓口へお越しください。

○確定申告の際、「納付済額のお知らせ」などの書類の添付は必要ありません。ご自身がお持ちの書類などにより納付済額を確認できる方は、その金額を記載していただいて構いません。(国民年金保険料は添付が必要です。)

受け付けは「1月4日(木)」から

産前産後期間の国民健康保険税の減額制度

町民課 ☎0465-8515007

子育て世帯の負担軽減や次世代育成支援の観点から、産前産後期間の国民健康保険税を減額する制度が1月から始まります。受け付けは「1月4日(木)」からです。詳しくは、町ホームページをご確認ください。

【対象となる方】

2023(令和5)年11月1日以降に出産した、または出産予定の国民健康保険の被保険者の方

※妊娠85日以上の出産が対象です。(死産、流産、早産、人工妊娠中絶の場合も含みます。)

【届け出に必要なもの】

- ・国民健康保険税減額届出書
- ・出産予定日を確認することができる書類
- ※出産後に届け出を行う場合は、親子関係が確認できる書類
- ・多胎妊娠を確認することができる書類
- ・死産などの場合は、死産などの日と身分関係を確認することができる書類
- ・届け出人の顔写真付きの身分証明書

【届け出について】

届け出は、出産予定日の6カ月前から行うことができます。ただし、出産育児一時金の支給など、町が出産の事実を確認できる場合、届け出は不要です。

【提出方法】

町民課に持参か郵送、または「休日夜間受付申請ボックス」に投函

◆減額対象となる期間◆

▼産前産後期間

出産予定月または出産月の前月から4カ月間、多胎妊娠の場合は、出産予定月または出産月の3カ月前から6カ月間となります。

単胎	3カ月前	2カ月前	1カ月前	出産(予定)月	1カ月後	2カ月後	3カ月後
多胎	3カ月前	2カ月前	1カ月前	出産(予定)月	1カ月後	2カ月後	3カ月後

※産前産後期間の所得割額と均等割額が年税額から減額されます。(産前産後期間の保険税が0円になるとは限りません。)

▼2023(令和5)年度は、産前産後期間のうち2024(令和6)年1月以降の期間だけ減額されます。

2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
		出産月				

※2023年11月に出産した場合、2024年1月の保険税が減額されます。1月より前の期間は、減額の対象とはなりません。

国民健康保険・後期高齢者医療制度に加入の方へ 医療費通知を送付します

町民課 ☎0465-8515007

国民健康保険、後期高齢者医療保険では、医療費負担の仕組みや皆さんの健康に関する認識を深めていただくため、保険診療で医療機関などを受診した方を対象に、「医療費のお知らせ(封書)」をお送りしています。

【2023(令和5)年中の医療費通知と医療費控除の申告】

2023年1~12月診療分の医療費通知は、次の予定で発送します。確定申告(医療費控除)の際、医療費通知を添付すると「医療費控除明細書」への記入を省略できます。

▼国民健康保険(世帯主に送付)

- ・2023年1月~11月診療分 ↓2月上旬
- ・2023年12月診療分 ↓3月上旬

▼後期高齢者医療保険(加入者(個人)ごとに送付)

- ・2023年1月~11月診療分 ↓2月中旬
- ・2023年12月診療分 ↓3月中旬

【医療費通知における個人情報のお取り扱い】

国民健康保険の場合、世帯主に世帯全員の医療費通知をお送りすることは、個人情報の第三者提供に該当しますが、ご本人から同意しない旨の連絡がない場合は、国のガイドラインに従い、同意をいただいたものと判断します。医療費通知を世帯主に送付することに同意しない場合は、町民課までご連絡ください。

【確定申告と医療費通知】

保険診療の仕組みでは、医療機関受診後の情報を町で確認できるのは、最短期でも診療月の翌々月となります。12月診療分データ処理は2月から開始しますので、確定申告開始日に確実に間に合うよう通知を送付することができます。あらかじめご了承ください。

民泊のまち「おおい」

大井町民泊受入家庭確保促進補助金のご案内

地域振興課 ☎ 0465-85-5013

民泊の受け入れをしてみませんか！

町では、人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足から生じる地域の困りごとを解決するため、教育旅行の誘致による交流体験事業の推進により、農地の管理や里山の管理など、自然環境の保全に向けた取り組みを進めています。教育旅行の誘致に当たり、民泊受入家庭として登録をいただいた家庭に対し、受け入れの準備に必要な経費の一部に対し補助金を交付します。詳しくは地域振興課までお問い合わせください。



【民泊受入家庭の要件】

- ①居住している家屋に「台所」「浴室」「トイレ」「洗面設備」があること
- ②1人当たり2畳のスペースが確保できること(6畳間もしくは8畳間)
- ③火災報知機が設置されていること

【補助額及び対象経費】

- ▼補助額
上限 10 万円
- ▼対象経費
 - 簡易な住宅改修費（トイレ、浴室等の水周り）、消防設備（火災報知器）設置費
 - 布団や食器など、宿泊者が使用する物品の購入費

【補助対象者】

▼次の要件を全て満たす方（家庭）

- ①町に住所を有し住宅宿泊事業法第3条第1項に基づく届出をした方（家庭）
- ②町が推進する交流体験事業（一般社団法人神奈川大井の里体験観光協会が受け入れる教育旅行など）の民泊の受け入れに同意した方（家庭）
- ③町税など（国民健康保険税を含む。）に滞納がない方



大井町初の！

クラウドファンディングを実施

地域振興課 ☎ 0465-85-5013

町と地域包括協定を締結している昭和女子大学の「大井町プロジェクト」チームの学生6人と四季の里まつり実行委員会の連携による、クラウドファンディングを実施しています。内容は、おおいゆめの里周辺で行われる四季の里里山花まつりで「桜ライトアップ&スカイランタン」を行うためです。

荒廃した里山を復活させた「ゆめの里育て隊」の長きにわたる活動と「多くの人が集い、この里山を次世代に伝える」という隊員の皆さんの想いに感銘を受け、少しでもお手伝いがしたい！と学生自らが考え、想いを実現するためのプロジェクトとなっています。

実際に現地体験していただける方、現地にご来場いただけない方も次世代に繋げる取り組みにご賛同いただき、ご支援をお願いします！

★クラウドファンディング

受け付け期間

「～2月18日（日）」

★里山花まつり開催日

「3月2日（土）、3日（日）」





は、忘れた頃にやってくる！

防災安全課 ☎ 0465-85-5002

防災講演会を開催しました

12月3日(日)、関東大震災100年関連事業「大井町防災講演会」を生涯学習センターで開催しました。講演会は2部構成で、第1部では神奈川^{いたでらかずひろ}県温泉地学研究所 板寺一洋所長から「地震災害に備える」と題し、専門的見地から地震の発生のメカニズムから防災・減災に向けた心構えを、第2部では^{はらだつし}秦野市在住のQQ防災クラブ 原田剛代表から「その時！災害時に機能する防災組織のヒント」と題して、自らが役員を務める自主防災組織や救命ボックスなどに関して自治会目線でのお話をさせていただきました。それぞれの質疑応答では参加者より活発な質問がよせられ、不断の物心両面の準備の必要性について考えさせられました。

館外の特設会場では、木造住宅耐震化啓発として神奈川県県土整備局による「耐震セミナー」を、またQQ防災クラブによる救命ボックスの実物展示や防災用品の展示を行っ

たところ、対応に当たったスタッフが多くの方々の質問責めに合うなど大盛況の会となりました。また、本講演会に合わせ、「関東大震災写真展」をホワイトにて11月16日(木)から展示しました。



▲講演中の板寺所長



▲特設会場で説明する原田代表



▲耐震セミナー特設会場

自主防災組織リーダー等研修会を実施

11月3日(金・祝)、17日(金)各自治会代表は、県総合防災センターを訪れ、座学、実技(救出・消火訓練)を通し、自主防災組織に必要な基礎を学びました。写真は避難所シミュレーションの際、1人に必要な空間を体感している様子です。



湘光中で出前講座を行いました

11月6日(月)、7日(火)の両日、湘光中学校1学年4クラスすべての教室を巡回し、防災講座を実施して防災学習の動機づけを行いました。



小学生消防団員の活動レポート

防災安全課 ☎0465-85-5002

★ 消防署の見学と火の用心の呼びかけをしました

11月12日(日)、小学生消防団員が小田原市消防本部へ見学に行きました。これまで消防団の活動をたくさん体験してきましたが、常備消防の消防士や消防署がどういふ所なのかを知る機会です。実際に119番通報が入る情報指令センターや消防署の設備、そしてさまざまな消防車両・救急車などの中や装備を見せてもらい、消防士の方にたくさん質問をしていました。

消防本部を見学した後は、ヤオマサ大井町店の協力で、店頭で啓発活動を行いました。この日は秋季火災予防運動期間のため、消防団は火事を出さないために警戒と広報を頑張っていました。子どもたちも大井町消防団の一員として、お客さんにチラシなどを配りました。この日は一気に気温が下がり、非常に寒い中でしたが、みんな一生懸命に「火の用心をお願いします！」と呼びかけていました。



▲救急車の中を見せてもらいました！



▲防火を呼びかける小学生消防団員



町の自然を見直し伝えていく おい自然園展示会

生涯学習課 ☎ 0465-83-5409

11月16日(木)～21日(火)、生涯学習センター2階会議室でおい自然園展示会を開催しました。開催中は、保育園や幼稚園の園児たち、小学生など、延べ270人の来場がありました。



今回の展示は、広報連載記事をはじめ、生きもの調査「ダンゴムシのなかま」「ウスバキトンボ」の報告や町民の皆さんにご協力いただいている自然NOW1年分の掲示を行いました。

自然NOWのコーナーは町民からの情報量の多さを物語り、生きものだけでなく、なかなか見ることない景色など多様性に富み、圧巻でした。ぜひ、今後ともご協力お願いいたします。

また、特別展として「名誉町民 ^{さかいつね}酒井恒博士の軌跡」が開催され、博士の功績と大井町との関係をメインに展示が行われました。



18日(土)には、ギャラリートークとして「酒井博士の思い出～相模湾産海洋生物調査を通して～」と題し、^{いけだひし}池田等さんから相模湾の生きものをはじめ、酒井博士との思い出をお話いただき、とても有意義な時間となりました。



特別講師 池田等さん
(元葉山しおさい博物館館長)



令和5年度七歳の祝い もうすぐ1年生、楽しい思い出を胸に。

生涯学習課
☎ 0465-83-5409

日本の伝統行事である「七五三」にちなみ、町在住の来年度小学校に入学する子どもたちをお祝いするため、11月16日(木)に「七歳の祝い」を開催しました。

当日は、91人の子どもたちとその保護者が参加しました。式典では、背筋を伸ばし姿勢を正したり、元気よく返事やあいさつをしたりする姿が見られました。式典後は、劇団バクによる着ぐるみ人形劇「みにくいあひるのこ」を観劇しました。子どもたちは、かわいい人形たちが織り成す物語の世界に引き込まれ、声を出したり、一緒に歌ったりしていました。もうすぐ1年生になるみんなと楽しい思い出をつくることができました。

しっかりと話を聞いたり、みんなで楽しんだりできる子どもが多く、4月の小学校入学が今から楽しみです。



◀すいっぴーもお祝いに
来てくれました♪



◀▲かわいい人形の登場に
大喜びの子どもたち

これからも元気いっぱい
のあいさつで、立派な小学生になってね！



エンジョイ スポーツ!

生涯学習課 ☎ 0465-85-5016

子ども卓球教室を開催

11月5日、12日、19日の3日間、総合体育館で町スポーツ協会卓球部の方々を講師に招き、小学4年生から6年生までの13人が参加し「子ども卓球教室」が開催されました。

教室は講師からラケットの持ち方からフォアハンドやサーブの打ち方などの基本的なことを教わり、最終日には試合を行いました。

全く経験のなかった子どもたちでしたが、3日目にはラリーや試合ができるまで上達し、卓球をととても楽しんでいました。



上大井新橋の猛打が爆発!

11月26日(日)に湘光中学校グラウンドで、第74回町民ソフトボール大会が、6チームの参加で開催されました。大会は、曇り空の寒い中でしたが、自治会や地元企業、野球部員と保護者などで構成された大井高校が参加し、グラウンド内は活気に満ち溢れ、大変盛り上がりしました。

決勝戦は、同じ自治会内の「新橋」と「駅前」との対戦になり、予選から猛打が爆発した「上大井新橋」が昨年に引き続き優勝に輝きました。



第1回町民ふれあいペタンク大会

12月3日(日)に、晴天の上大井小学校グラウンドで、町民ふれあいペタンク大会が開催されました。

記念すべき第1回の大会は、自治会などから20チーム44人の参加で行われました。

予選を通過し、決勝トーナメントを勝ち抜いた、新宿体育会Aとスポーツ協会で決勝戦が行われ、接戦を制したスポーツ協会が、見事、初代王者となりました。各チームとも日ごろの練習の成果を発揮し数多くの好プレーが見られました。大会の結果は次のとおりです。



おおくすやま

大楠山を歩きました

11月18日(土)秋の町民歩け歩け大会が、大楠山ハイキングコースで、町民24人の参加で開催されました。

当日は、あいにくの曇り空、さらに強風により予定していたコースの変更がありました。参加者は葉山町の湘南国際村から横須賀市の大楠山(242m)を目指して登りました。

階段の続く山道を登り、山頂で昼食、記念撮影を行いました。晴れていれば富士山も見られる360度の大展望でしたが、今回は雲が邪魔をして残念ながら見ることはできませんでした。



厚生労働大臣から表彰されました

福祉課 ☎ 0465-83-8024

寺下かつ子さん(新宿)が多年にわたり、民生委員児童委員として、社会福祉の推進に貢献し、その功績が認められ、民生委員児童委員功労者として厚生労働大臣表彰を受けられました。

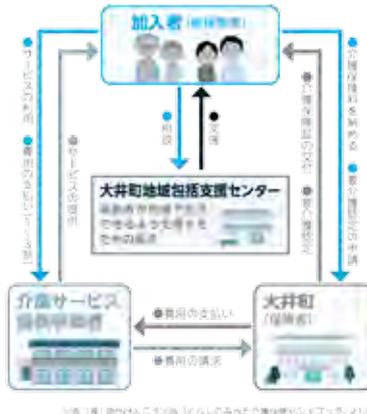
寺下さんは、2001(平成13)年12月に民生委員児童委員に委嘱され、現在は、民生委員児童委員協議会の会長として、地域福祉活動に積極的に取り組み、社会福祉の向上に尽力されています。



介護保険の仕組み

介護保険は、介護が必要になっても高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らしていただけること、またその人が有する能力に応じ、自立した日常生活を送ることなどを目指しています。

同時に、高齢者ができる限り要介護状態になることを予防するため、健康の保持増進に努めるものとしています。40歳以上の方は介護保険の被保険者となり、決められた保険料を納付します。その保険料や公費を財源とすることで介護が必要になった場合には、その費用の一部を負担することでさまざまな介護サービスを利用することができます。



認定申請からサービス利用までの手続き

- (1) 福祉課へ申請を行う（窓口で聞き取りを行います）
- (2) 訪問調査・主治医意見書の作成
- (3) 認定審査会による審査判定 → 結果通知
- (4) ケアマネジャーによるケアプランの作成
- (5) 介護サービス利用開始

介護保険の被保険者

- ①第1号被保険者（65歳以上の方）
- ②第2号被保険者（40歳以上65歳未満の医療保険加入者）

介護サービスを受けられる方

- ①第1号被保険者で、寝たきりや認知症などで、入浴、排泄、食事などの日常生活動作について常に介護が必要と見込まれる方、または日常生活動作について常に介護を必要とする状態の軽減・悪化防止のために支援が必要と見込まれる方
- ②第2号被保険者のうち、初老期における認知症、脳血管疾患などの老化が原因とされる疾病（16種の病気を政令で指定。特定疾病）により介護が必要と見込まれる方

介護サービスを利用する方法

介護保険のサービスを利用するためには、まず要介護認定の申請が必要です。審査の結果、「要介護」または「要支援」と認定されると介護サービスを利用することができます。

介護保険に関する相談

まずは、高齢者の総合相談窓口となっている「大井町地域包括支援センター」（福祉課内）にご相談ください。

町で初めての認定こども園
当園は2023（令和5）年4月、町にとって初めての認定こども園として開園しました。子どもたち一人一人がその子らしく伸びていく、そんな丁寧な保育をめざしています。幼児に関しては行事の練習や決まった活動に追われるのではなく、やりたいことにとことんのめり込む姿や、やりたいことを皆で話し合ったり、挑戦していく過程を大切に、保育者主導で環境や遊びを決めていくのではなく、子どもの姿を見ながら遊びを展開していくことに注力してきました。また、職場環境づくりに力を入れ、保育者の働きやすさや働きがいを高めていくために、休憩をしっかりと取れる体制や、ICT活用によって保育を丁寧に振り返り、学び合う時間を確保したりと、保育の質を高めていくための理想的な環境

教室からこんにちは
No.162
こもれびと風
おい認定こども園



▲秋祭りを実施。
親子でリース作り♪



▲子どもたちが野菜を販売中！

株式会社フェアリーランド
代表 菊地加奈子

づくりにも励んでいます。保護者もとても協力的で、子どもをまん中に一緒に子どもの育ちを喜び合える関係性ができてきました。開園年度は園づくりに全力を注いできましたが、これからは地域の子育て支援を担う役割をより一層強化していくため、在園児はもちろん、地域の子育てに関する幅広い支援を行っていきたいと考えています。

国民年金の豆知識

20歳になったら 国民年金

日本年金機構小田原年金事務所

☎ 0465-22-1391

町民課 ☎ 0465-85-5007

国民年金の加入と保険料のご案内

<https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/20kanyu.html>



日本年金機構ホームページ

<https://www.nenkin.go.jp/>



【国民年金のポイント】

- ・国民年金は、20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。
- ・国が運営するため、安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。
- ・国民年金は、年齢を重ねた時の老齢年金の他、障害年金や遺族年金もあります。
- ・障害年金は、病気や事故で障がいが残ったときに受け取れます。
- ・遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持していた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取れます。

【学生納付特例制度】

- ・ご本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度です。
- ・対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。
- ・猶予期間は年金の支給資格期間に合算されますが、年金の支給額には反映されません。

・所得の目安は、本人の前年所得が次の計算式で計算した金額の範囲内である方、または失業などの理由がある方

▼計算式

（扶養親族などの数×38万円）

+128万円

【納付猶予制度】

・学生でない50歳未満の方で、ご本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、保険料の納付が猶予される制度です。

・猶予期間は年金の加入期間に合算されますが、年金の支給額には反映されません。

・所得の目安は、本人、配偶者の前年所得が次の計算式で計算した金額の範囲内である方

▼計算式

（扶養親族などの数+1）×35万円

+32万円

※納付猶予となる所得を超える場合でも失業などによる減収を事由として保険料が猶予される場合があります。

※国民年金保険料の学生納付特例、納付猶予を受けた期間があると、保険料を全額納めたときに比べ、老齢基礎年金の年金額が少なくなります。

※ここで、将来受け取る老齢基礎年金の年金額を増やすために、10年以内であればこれらの期間の保険料をさかのぼって納める（追納すること）ができます。

笑顔特派員

スベリー・マーキュリーの 笑顔の届け日誌⁸⁹

今年も石井醸造&井上酒造の地酒とともに華やかにお正月を迎えました、笑顔特派員&農ある暮らしコンシェルジュのスベリーです。

広報おおいをご覧の Beautiful Peopleのみなさま、あけましておめでとうございます！年始というところで、大井町での活動目標2024を発表する回となります。2つあるので最後までお付き合いください！
目標一つ目は、【竹アカデミーの認知度向上】です！

町の困りごとの一つである荒廃竹林整備を目的に、年間通じて「たのしく」ときに「おいしく」竹活用のアイデアを生み出す竹アカデミー。おかげさまで昨年11月の開講以来じわじわと参加者が増えてきております。体験コンシェルジュや体験観光協会のこれまでの積み重ねの結果、さらにはアカデミー自体に確かなクオリティが伴っているからこそだと思えます。今年はこの竹アカデミーをいかに広めていくかを課題として活動していきたい！
と、ここでみなさんをお願いがあります。今月の産業まつり（21日(日)開催）に設置される竹アカデミーブースに遊びに来てください！ア



カデミー生による竹ワークショップや制作物展示などを実施する予定です。「体験が楽しいから」「子どもにやらせてあげたい」「大井町が好きだから」「地域課題の解決に興味があるから」さまざま理由で集ったアカデミー生たちが、この日のために一つになって準備を進めてくれています。初めての試みですが、スベリーも全力で盛り上げマキユリしますので、どうかブースに足を運んでいただき応援してくれると嬉しいです。

二つ目は【3月のME-BYOフェスタを大成功させる】です！

さらっと初出しの情報をお伝えしましたが、なんと3月20日（水・祝）に「食・運動・癒し」をテーマにしたイベントを開催予定！まだまだ調整中な部分が多いのですが、スベリーも企画に参加させてもらっているの、ひとまず3月20日のスケジュールをまるっと空けておいてもらえると嬉しいですよ。今年も一緒に、楽しく笑顔にあふれた1年にしていきましょ！



竹アカデミー生の皆さん

図書館だより

◎開館時間 9:00～17:15
◎年末年始の休館日 2023年12月29日(金)～2024年1月3日(水)
(大井町図書館・そうわ会館図書室共通)
◎休館日 大井町図書館 9日(火)、22日(月)
◎問い合わせ 大井町図書館 ☎0465-83-5401
そうわ会館図書室 ☎0465-85-1887

New Books ▶▶

【大井町図書館 一般書】

『首都圏城跡ハイキング』
しみず かつたか 清水 克悦／著 メイツユニバーサルコンテンツ

『2035 10年後のニッポン ホリエモンの未来予測大全』
ほりえ たかふみ 堀江 貴文／著 徳間書店

『車のある風景』
まつとうや まさたか 松任谷 正隆／著 JAFメディアワークス

『鋼の絆 ギンイチ消防士・神谷夏美』
いがらし たかひさ 五十嵐 貴久／著 祥伝社

『夜明けのはざま』
まちだ そのこ 町田 そのこ／著 ポプラ社

【大井町図書館 児童書】

『人類の物語 どうして世界は不公平なんだろう』
ユヴァル・ノア・ハラリ／著 河出書房新社

『ずかん根っこ 見ながら学習調べてなっとく』
おおやま たくじ 大山 卓爾／監修 技術評論社

『じゃんけんのすきな女の子』
まつおか きょうこ 松岡 享子／さく Gakken

『ピアノ』
いせ ひでこ／作 偕成社

『カタリン・カリコの物語 ぜったいにあきらめないmRNAワクチンの科学者』
デビー・ダディ／文 ジュリアナ・オークリー／絵
たけうち かおる 竹内 薫／訳 西村書店

【そうわ会館図書室 一般書】

『椿ノ恋文』
おかわ いと 小川 糸／著 幻冬舎

『戦国女刑事』
よこざき だい 横関 大／著 小学館

『わたしに会いたい』
にし かほこ 西 加奈子／著 集英社

『思い出の屑籠』
さとう あいと 佐藤 愛子／著 中央公論新社

『カーテンコール』
つづい やすたか 筒井 康隆／著 新潮社



こちらで紹介した本は、新しく入った本の一部です。
最新の情報は、図書館ホームページをご覧ください。
図書館ホームページ▶▶▶ <https://www.oitown-lib.jp>



『首都圏城跡ハイキング』 『鋼の絆』 『わたしに会いたい』 『ピアノ』



Pick Up!

Event & Information ▶▶

1月のおはなし会

6日(土) (絵本) げんきなマドレーヌ
(絵本) ありがたいこってす!

13日(土) (絵本) かさじぞう
(絵本) こんなしっぽでなにをするの?

20日(土) (紙芝居) マーシャとくま
(絵本) イエベはぼうしがだいすき

27日(土) (紙芝居) あかずきん
(絵本) はらぺこあおむし

時間：10:30～11:00 場所：大井町図書館内

親子いっしょのおはなし会

日時：1月11日(木) 10:30～11:00
場所：大井町図書館内
対象：就園前のお子さんと保護者

ファミリー読書の日(毎月第1日曜日)

日にち：1月7日(日)
児童コーナーでおすすめの本を読んだり、おりがみコーナーで折り方の本を見ながらおりがみに挑戦したり、家族のコミュニケーションを通して読書を深めましょう。

1月の催し

「すいせん神社」「おみくじとお札」
「早口ことば」は児童のコーナーに来て見てね。

1月の展示

「オカリナ」
リラックスした時に感じるアルファ波を起こす働きがあると言われています。土のぬくもりが感じられる楽器です。

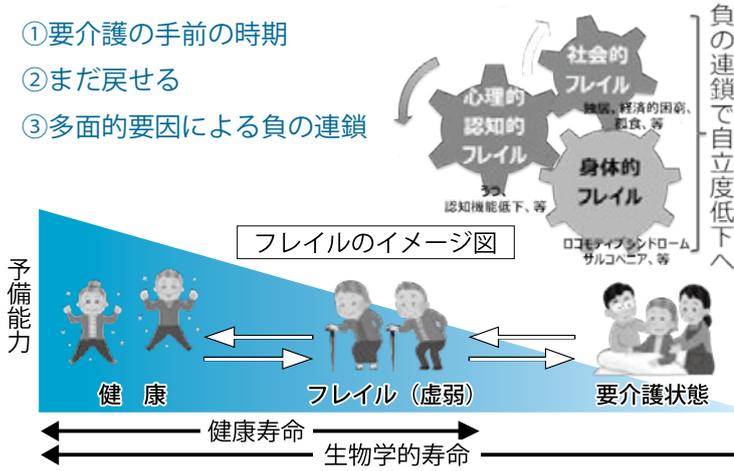
高齢期はメタボ予防から

フレイル予防へ

「ギアチェンジ！」



フレイル（虚弱）とは、加齢により体力や気力が弱まっており、「①要介護の手前の時期」「②まだ戻せる」「③多面的要因によって負の連鎖が起きている」状態のことです。



そこで今回は年齢別のフレイル予防についてご紹介します。

【50歳から64歳の方はメタボ予防を！】

メタボ予防を！

高齢期のフレイルを予防する上で、この時期はメタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病などの生活習慣病予防を中心とした健康管理が大事です。栄養面で気を付けることはエネルギー制限（塩分・脂肪制限）になります。

また、子育てや仕事を終えた後のセカンドライフに社会参加の機会や新たな人とのつながりがあることは、フレイルの予防に重要です。

【65歳から74歳の方はメタボ予防とフレイル予防の過渡期です】

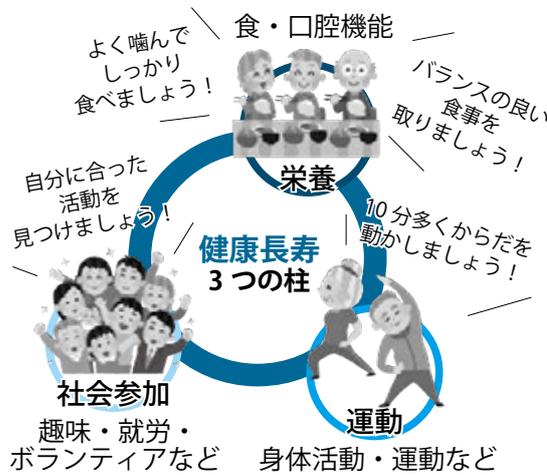
フレイル予防の過渡期です！

持病の慢性疾患を適切にコントロールしながらも、フレイル予防を意識した取組を開始する時期です。健康長寿の3つの柱である、栄養をしっかりと取る（お口の健康も）、体力づくり、人とのつながりづくりが重要になります。

中でも栄養については、食べ過ぎを防ぎ、野菜をしっかりと食べる中期の食生活から、タンパク質の不足に注意してしっかりと食べる高齢期の食生活へと徐々に変えていくことが大切です。

【75歳以降の方はフレイル予防！】

健康管理、健康づくりの重点をまさにフレイル予防に置くべき時期です。この時期は健康長寿の3つの柱である、栄養をしっかりと取る（お口の健康も）、体力づくり、人とのつながりづくりを重点的に行う必要があります。特に栄養面では「高たんぱく・高ビタミンD」を取り、適切なエネルギーへの「ギアチェンジ」が重要になります。



フレイル予防はいつから始めても遅いということはありませんので、自分のペースで着実に取り組んでいきましょう。また、福祉課では体力づくり、人とのつながりづくりを目的に「おい！元気会サポーター育成講座」を開催しています。人生100年時代と言われている現在、ぜひ参加してみませんか。

まちの文芸

短歌

おほろ短歌会

遙かなる世にゐるごとし山深き
湯治場の夜の閑けきのなか
露木 順子

沖合にけふ房総の見え始め
海面は碧く秋深みたり
久保 知子

たつぷりのフリルを揺らし白が姿
二歳が言へりプリンセス・リサと
田中 武子

俳句

おほろ俳句会

談笑の 真ん中に座す 蜜柑かな
高橋みどり

みかん狩り 里に響きし 笑い声
瀬戸とみ子

生きるとは 老いて行くこと 落葉掃く
中津川晴江

仲間皆 期間限定 茸汁
廣田 悦子

海風と 陽に抱かれて 蜜柑山
中村 昌男

はるかなる 大地の吐息 芒原
中根登美子



1月の行事予定

日程	事業予定	場所
4日(木)	町民新年のつどい(10:00～)	役場庁舎 303・304会議室
6日(土)	令和6年二十歳のつどい(10:00～)	生涯学習センター ホール
8日(月・祝)	令和6年消防出初式(10:00～)	総合体育館駐車場
9日(火)	3か月児健診(13:00～)	保健福祉センター
12日(金)	2歳6か月児健診(13:00～)	
15日(月)	オレンジカフェひだまり(10:00～)	
16日(火)	ぞうさんくらぶ(9:30～)	
17日(水)	総合相談(10:00～)	生涯学習センター
18日(木)	あつまれ!赤ちゃん(10:00～)	ふれあい館
21日(日)	第64回産業まつり(10:00～)	おおい中央公園
22日(月)	エンジョイ!マタニティ(13:00～)	保健福祉センター
23日(火)	1歳6か月児健診(13:00～)	保健福祉センター
25日(木)	赤ちゃん健康相談(9:30～)	保健福祉センター
27日(土)	おおい自然園「酒匂川の野鳥観察会」 (9:00～)	酒匂川左岸
28日(日)	足柄上地区一周駅伝競走大会 (9:00～)	足柄上地区

人口と世帯数 11月30日現在 ()内は前月比

- 人口 男性 8,576人 (0)
女性 8,745人 (5)
合計 17,321人 (5)
- 世帯数 7,459世帯 (6)

お誕生おめでとう 11月16日～11月30日受理

氏名	性別	保護者	自治会
ふじい かいり 藤井 快史	男	けん まゆみ 健・真由実	河原
おいかわ みあ 追川 美愛	女	まさあき えり 正明・江理	馬場
こみやまさあや 小見山紗綾	女	ひろかず えりこ 宏和・絵理子	西大井

希望者のみ掲載(敬称略) 掲載3件/届出3件

町内交通事故発生状況 11月1日～30日

- 件数5件 ●死亡0人 ●負傷7人

敬老祝い金 お誕生日おめでとうございます

やまなか たろう
山中 太郎さん
(100歳・河原)
11月20日撮影



敬老祝い金 お誕生日おめでとうございます

いしい ふみこ
石井 文子さん
(99歳・赤田)
12月8日撮影



男女共同参画講演会

被災地の実情から学ぼう!

～高齢者・障がい者・子ども・女性の視点から～

男女共同参画という視点から、地域の防災について見つめなおすことで、性別の違いを問わず、一人一人の被災者が大切にされる防災・災害支援について考えを深めます。

■日時：2月10日(土) 13:30～15:00(開場13:00)

■場所：生涯学習センター 2階 第1～4会議室

■講師：

あさの さちこ
浅野 幸子さん

- ・減災と男女共同参画研修推進センター共同代表
- ・早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員
- ・福祉防災認定コーチ



■申し込み(先着100人)：

1月15日(月)～2月9日(金)17:00までに、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、託児希望の有無を、協働推進課に電話(☎0465-85-5004)、電子メール(kyoudou@town.oi.kanagawa.jp)または二次元コードからオンラインで申し込み



※託児は未就学児まで(無料、5人)。ご希望の方は、申込時にお子さんの氏名(ふりがな)、性別、年齢を記載し、1月26日(金)までにお申し込みください。なお、オンラインで託児の申し込みはできません。

おたより紹介

読者の皆さまから寄せられた「広報おい12月号」の感想・町への意見を紹介します。

- おおい中央公園で子どもたちが楽しそうに遊んでいるのを見ると平和の喜びを感じます。
- 「おおい自然園」を楽しみにしています。ヤマビルが鹿の蹄に潜んでいるとは、大変勉強になりました。
- 出かけ先から帰ってきてビオトピアが見えると、大井町に帰ってきたなと実感します。

○ 12月号の答え

3、11、18、20、22

○ 当選者（応募11通）

めがねさん
ロングヘアラバーズさん
おめでとうございます！

Q まちがいきがしに挑戦！

12月3日（日）に四季の里で、「四季の里 みかんまつり」が行われました。みかんもぎや竹筒バウムクーヘン作り、恒例のピザ作りなど、さまざまな体験会があり、皆さんとても楽しそうでした。上と下の写真は、比べると違っているところが5カ所あります。どこでしょう？ 写真の数字で教えてください。

■ 応募方法

はがきかメールで、答え・住所・氏名（ペンネームも）・電話番号・年齢・日ごろ思うこと（町への意見や広報おいへの感想などなんでもOK）を記入して応募

※「日ごろ思うこと」でいただいたご意見への回答はできませんのでご了承ください。

宛 先 〒258-8501 足柄上郡大井町金子1995番地

大井町役場 協働推進課 広報おい係

メール kouhou1@town.oi.kanagawa.jp

締 切 1月15日（月）

○ 応募者の中から、抽選で2名の方に粗品をプレゼントします。



Instagram
@oitown_official



X (旧 Twitter)
@oitown_official



今日の表紙

あけましておめでとうございます。また新しい年がやってきました。今月号は広報おい700号の記念号。表紙は600号～699号までの表紙を使用しています。こうして並べてみると、作成者によって、さまざまな色があることがわかります。皆さん機会があれば、ぜひ昔の広報紙もご覧になってくださいね。

そして今月はお正月ということで、右上の「1」をアレンジしてみました。かがみ餅にみえるでしょうか？

11/21 相和小学校4年生ひょうたんランプづくり

相和小学校4年生が授業の一環として、ひょうたんランプをつくりました。まずは、それぞれ好きなひょうたんを選び、思い思いに絵を描いていきます。その後、ドリルを使って、描いた絵に沿って穴をあけていきました。皆さん集中力が高く、あっという間に終わりの時間に。それぞれ素敵な作品が出来上がりました。



11/30 おおいまちSDGsパートナー証授与式

CO₂排出量の削減や自然との共生活を推進する積水ハウス株式会社湘南支社が新たに「おおいまちSDGsパートナー」となりました。応募は随時受け付けています。



12/2 令和5年度大井町人権を考えるつどい

「『障害ってなに?』～障害について皆さんと考える～」と題し、講師に元パラリンピック選手(車いすバスケットボール)の神保康広^{じんぼやすひろ}さんを迎え、令和5年度大井町人権を考えるつどいを開催しました。ご自身の体験談やパラスポーツの取り巻く環境など、さまざまなこととお話いただき、あっという間の1時間半でした。



12/11 年末の交通事故防止運動

「年末の交通事故防止運動」を実施しました。ヤオマサ大井町店で、町交通指導隊、松田警察署などの協力のもと、チラシや啓発物品を配布し、ドライバーの皆さんに安全運転の呼びかけを行いました。年末は交通量が多くなり、交通事故の多発が懸念されます。日頃から安全運転を心がけ、事故のない町を目指しましょう。



金手

牧野^{まきの} 葉瑠ちゃん(8カ月)
「寝返り成功!」



天使 *のほほえみ Angel smile*

町内在住で3歳までのお子さんの写真を募集!
写真と写真のコメント、子どもの名前(ふりがな)、生年月日、電話番号、自治会名を添えて、協働推進課へ持参またはメールでご応募ください。
協働推進課 ☎ 0465-85-5004
mail: kouhou1@town.oi.kanagawa.jp

e-kanagawaからの受け付けも始めました!
※右の二次元コードから読み取ってご応募ください!



大井の文化財

金手祭ばやし

No.13

町指定重要文化財
平成3年7月18日指定

足柄平野の各地では、江戸時代に江戸の葛西地方から伝わったとされる小田原囃子の系統の祭囃子が演奏されています。大井町では、「金手祭ばやし」と「上大井祭囃子」が地元の人々の力で継承されてきました。

「金手祭ばやし」は、明治時代初期から金手の三嶋神社の祭礼の際に奉納され、山車巡行の時は、山車に乗って祭囃子が披露されます。楽器は、締太鼓、大太鼓、横笛、摺鉦の四種類で構成され、曲は、「四方殿」「神田丸」「鎌倉」「四丁目」の順序で演奏されます。

「金手祭ばやし保存会」では、時代と共に変化してきた金手地区の伝統芸能を継承していくことは重要なことと捉え、地元の子どもたちと共に、日々熱心に活動しています。



▲山車の上での演奏

毎年元旦には、三嶋神社で「初打ち」をおこなっています。また、随時会員を募集しています。



▲金手祭ばやし保存会の皆さん(平成29年7月16日の祭典時に撮影)

大井町教育委員会 山崎敦也